



### 島田市 青年交換会開かれる

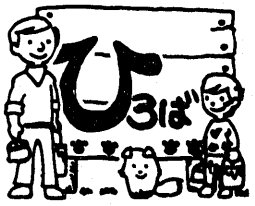
十九人が、十一月二十一日午後、市内の青年たちの温かい歓迎を受けました。この交換会は、これからの

港などを見学しました。その後、地元の青年団一行二十八人が、十二月六日から八日まで島田市を訪問し、ミニ運動会などのレクリエーション交流、文化財めぐりなどを行い、お互いの交流を深めました。また、今回の交換会を記念して、島田市から市の木、銀木原が、豊栄市からは、いちじょうの木が送られ記念植樹も行われました。

### 力作ぞろいの老人作品展

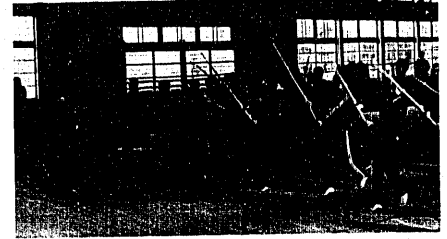
第五回豊栄市老人作品展が十一月六日から八日まで、早通老人憩の家、いするぎ荘で開催されました。この作品展は年々盛んになり、今年の出展者は百五十人、力作ばかりでした。入賞者は、次のとおりです。

- 書・画の部
  - 秀作賞―荻石藤一郎(下土)
  - 地蔵(二) 藤田三郎(早通)
  - 藤田(上) 藤田三郎(早通)
  - 實―小松英雄(早通)
  - 染織の部
    - 佳作賞―中村作(東栄町)
    - 花瓶
      - 秀作賞―佐藤トヨ(山飯野)
      - 座ぶとん 佳作賞―藤原ハナ(早通)
      - 文化刺しゅう 風刺、清水七(法花鳥屋)
      - 民芸工作の部
        - 佳作賞―神林茂(早通)
        - 書画、秋山信一郎(浦ノ)
        - 水ノ根
        - 盆栽の部
          - 秀作賞―滝沢清三郎(高森)
          - 益裁賞
          - 努力賞―大野清吉(高森)
          - コンクリ製農夫(人形)



### 私道の子供会・早通

三年ほど前に地元の人材の方から、早通地域の子どもを対象に剣道の練習ができる会を創って欲しい、という強い要望がありました。そこで、早通小学校を通じて全校生徒の意向調査をしたところ、大勢の子供達から早通にできるのなら是非参加したいとの回答がありました。それではと関係者のご指導やご援助をいただきながら、五十三年度三月結成総会の開催にこぎつけ、四月から早通小学校の体育館を会場に剣道の指導と練習がスタートいたしました。



早通剣士会は剣道を通して子供達を健全に育成することを目指して活動しています。また、夏休みには大自然に親しみながらも規律ある集団生活を習得するため、泊りがけで「五頭連少年自然の家」へ行き野外訓練を実施しています。早通剣士会は剣道を通して子供達を健全に育成することを目指して活動しています。

### 市民文芸

俳句 石動神社奉納句

- 杉浦 広葉 神の苑来て鳴く閉古声かきり
- 小林 翠山 秋風に岳がら細道にさまよへる
- 雷井 松雷 秋風や遠足児童の囁もびらて
- 目黒 竹舟 石動の幟はためく秋の風
- 長谷川風潮 取り忘れし風鈴ならす秋の風
- 曾田 幸泉 秋の風老えてきて多き一人言
- 本田十一郎 秋風の刷毛先動きペンキ工
- 小林千恵子 秋風や触ればもう物の音
- 小林 翠歩 通夜にゆく秋風深くふところ
- 小熊 茂子 折鶴をゆらす秋風一人病む
- 高橋 曲水 秋風や次第に険し農夫の貌
- 星野 莊城 秋風に曳く影一つ松葉秋
- 高橋 香雪 秋風に撫でられ穂波日々日に熟れ
- 松永 松翠 秋風に小鮭を積んだ大漁旗
- 阿部 竜堂 雉子の目が鋭く活きて秋の風
- 青柳 呼舟 秋風や沼にひびけり牛蛙
- 鎌倉 豊月 秋風に応える空地の草の丈
- 山崎 知盛 秋風に打つ音をもてくる秋の風

田辺 麦市 風車ひとつが秋の風拾ふ

- 曾我 桃水居 芋畑に妻の返事や秋の風
- 長谷川逸雄 秋風や余生の余暇を吹き抜ける
- 高橋 松月 秋風や争ひし水落しけり
- 渡辺 大山 水車小屋かたく閉ざれ秋の風
- 笠原 香蘭 窓に凭り悔あり秋の風を聴く
- 高橋 紅夢 干綱の高き秋風音となる
- 江口 杏太 晩酌の頬にささやく秋の風
- 斎藤 土生 何処からも実の入る音や秋の風
- 五十嵐柳翠 秋風に葉の葉擦れの音堅し
- 鈴木 宝竹 田も畑も彩が良く見え秋の風
- 天野たかお 老土袖から抜ける秋の風
- 橋本 麦穂 秋風に立ちあがり子が歩みそむ
- 小林 梨葉 大根の二葉に知るや秋の風
- 渡辺 春南 一葉落ち川辺を走る秋の風
- 後藤ヨシエ 秋の風深山いよいよ上影をもつ
- 青木 詩浪 目に滲みる街え煙草や秋の風
- 坂井 耕月 秋風に汐の香運ぶ浪の泡
- 町谷白洋史 秋の風牛乳温し旅にたつ
- 星野 吟風 秋の風退院の身を借りけり
- 青木 竹花 秋の風牛乳温し旅にたつ

川柳「自由詩」豊柳会

- 野村 良平 雨あられやがて白さを増す師走
- 与志田健児 黠草と悪口一緒に黄い受け
- 高見三左門 純捨ても惚造りも妻の下知
- 服部 尚二 騙されたふりして孫守るじじの策
- 大倉 貞光 秋茄子びくたびれました首を垂れ
- 本間 重蔵 仁術も詐術になって恐くなり
- 三村 豊 お、痛い残った前歯で頬をかみ
- 品田 浪乱 若者の力暴走浪費され
- 小池 浜 洗濯機回せば魚の肉がする
- 橋本 ひろ バスの旅美人ガイドの鞋の口
- 白井さつき 石橋を叩いた父に似せられ
- 中川 草香 信心を僧に委ねて冬仕度
- 吉川 初枝 含羞を忘れ儲ける顔になり
- 阿部 雅雄 身体よりお口が先行するお蔵
- 井上 睦子 わたくしの敵はわたしと悟る日々
- 師崎 山雨 浅瀬の歯ざわり今日の幸と居る

大島 残葉 宴会が待っている隣家よく通り

- 鹿島 郁子 嬉しさと淋しき泣きみる子の巣立ち
- 米田 とみ お経きく手に念珠の玉暖かい
- 三膳 一男 受胎告知嬢が二階へ風を切る
- 水田蛙太郎 ひっそりと髪毛削のピンが空
- 佐藤啓四郎 替え唄が忘年会を盛り上げる
- 後藤 一夫 露しげき月岡山の数陰にひそみて咲けるセンプリの花
- 阿部 翠電 三十年余過ごせし家の思ひ出を朝茶のみつつ妻を語るも
- 中村 毅 おのが灰おのれがかぶり身を尽すおのが心を誰か思はむ
- 吉田 きそ 浴場の大きな窓より海みれば西にかたむく月淡し
- 宮尾 正 庭木の葉も散りはてて小春日はときおり助の声のみ高し
- 菅川 静路 うらら日や部屋ぬち明るし炭の火の白くとけたる狂のしずもり
- 長谷川風潮 人夫衆空の奔馬杖にし昼寝してゐる工事現場に
- 丸山 盛一 しなやかに手足返してじき母の葛塚音頭を踊る夢見る
- 阿部 志き 憂きことの思ひを忘れわが生けし百合に語りて夢路たたらむ
- 五十嵐 清 いろいろな小粒なる実の色汁えてむらさきと花と見まがふ
- 長谷川茂雄 ふるさとを遠く旅して来しところリンゴ花咲く津軽湯の里

渡辺さんが通産大臣表彰 市商工会事務局長の渡辺清吉さん(東栄町)は、常勤役員としての長年の功績が認められ、十一月二十八日商工会法施行二十周年記念式典、全国大会の席上で通産産業大臣表彰を受けました。

市制施行十周年記念会 二市北浦バスケットボール大会 中学生の部 参加十一チーム、会場葛中 本丸中(新発田市) ②世神